

結果の概要

I 世帯数と世帯人員の状況

1 世帯構造及び世帯類型の状況

平成28年6月2日現在における全国の世帯総数（熊本県を除く。）は4994万5千世帯となっている。

世帯構造をみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が1474万4千世帯（全世帯の29.5%）で最も多く、次いで「単独世帯」が1343万4千世帯（同26.9%）、「夫婦のみの世帯」が1185万世帯（同23.7%）となっている。

世帯類型をみると、「高齢者世帯」は1327万1千世帯（全世帯の26.6%）で年次推移をみると増加傾向となっている。また、「母子世帯」は71万2千世帯（全世帯の1.4%）となっている。（表1、図1）

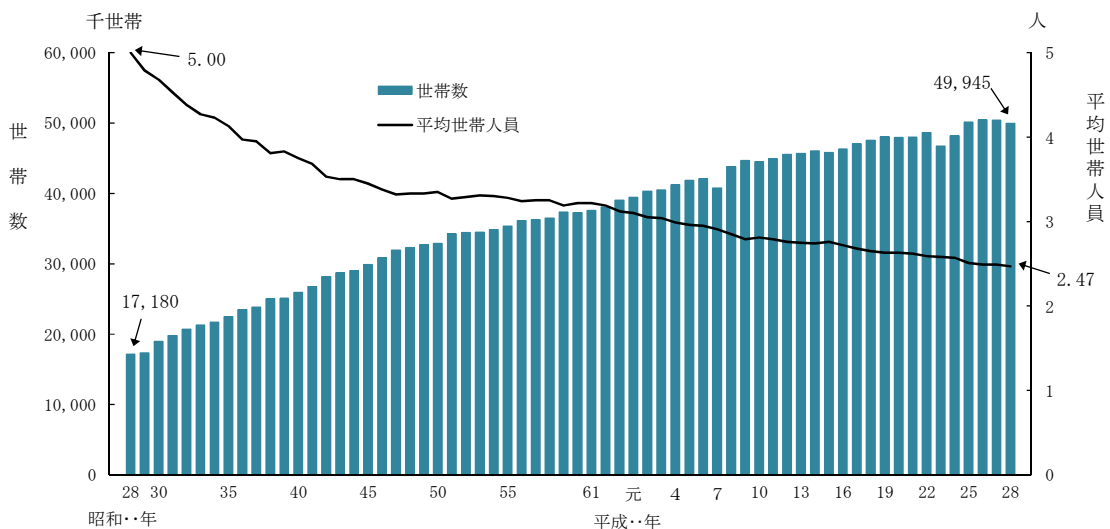
表1 世帯構造別、世帯類型別世帯数及び平均世帯人員の年次推移

年次	総数	世帯構造							世帯類型				平均世帯人員
		単独世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯	その他の世帯	高齢者世帯	母子世帯	父子世帯	その他の世帯		
推計数（単位：千世帯）													（人）
昭和61年	37 544	6 826	5 401	15 525	1 908	5 757	2 127	2 362	600	115	34 468	3.22	
平成元年	39 417	7 866	6 322	15 478	1 985	5 599	2 166	3 057	554	100	35 707	3.10	
4	41 210	8 974	7 071	15 247	1 998	5 390	2 529	3 688	480	86	36 957	2.99	
7	40 770	9 213	7 488	14 398	2 112	5 082	2 478	4 390	483	84	35 812	2.91	
10	44 496	10 627	8 781	14 951	2 364	5 125	2 648	5 614	502	78	38 302	2.81	
13	45 664	11 017	9 403	14 872	2 618	4 844	2 909	6 654	587	80	38 343	2.75	
16	46 323	10 817	10 161	15 125	2 774	4 512	2 934	7 874	627	90	37 732	2.72	
19	48 023	11 983	10 636	15 015	3 006	4 045	3 337	9 009	717	100	38 197	2.63	
22	48 638	12 386	10 994	14 922	3 180	3 835	3 320	10 207	708	77	37 646	2.59	
25	50 112	13 285	11 644	14 899	3 621	3 329	3 334	11 614	821	91	37 586	2.51	
26	50 431	13 662	11 748	14 546	3 576	3 464	3 435	12 214	732	101	37 384	2.49	
27	50 361	13 517	11 872	14 820	3 624	3 264	3 265	12 714	793	78	36 777	2.49	
28	49 945	13 434	11 850	14 744	3 640	2 947	3 330	13 271	712	91	35 871	2.47	
構成割合（単位：%）													
昭和61年	100.0	18.2	14.4	41.4	5.1	15.3	5.7	6.3	1.6	0.3	91.8	・	
平成元年	100.0	20.0	16.0	39.3	5.0	14.2	5.5	7.8	1.4	0.3	90.6	・	
4	100.0	21.8	17.2	37.0	4.8	13.1	6.1	8.9	1.2	0.2	89.7	・	
7	100.0	22.6	18.4	35.3	5.2	12.5	6.1	10.8	1.2	0.2	87.8	・	
10	100.0	23.9	19.7	33.6	5.3	11.5	6.0	12.6	1.1	0.2	86.1	・	
13	100.0	24.1	20.6	32.6	5.7	10.6	6.4	14.6	1.3	0.2	84.0	・	
16	100.0	23.4	21.9	32.7	6.0	9.7	6.3	17.0	1.4	0.2	81.5	・	
19	100.0	25.0	22.1	31.3	6.3	8.4	6.9	18.8	1.5	0.2	79.5	・	
22	100.0	25.5	22.6	30.7	6.5	7.9	6.8	21.0	1.5	0.2	77.4	・	
25	100.0	26.5	23.2	29.7	7.2	6.6	6.7	23.2	1.6	0.2	75.0	・	
26	100.0	27.1	23.3	28.8	7.1	6.9	6.8	24.2	1.5	0.2	74.1	・	
27	100.0	26.8	23.6	29.4	7.2	6.5	6.5	25.2	1.6	0.2	73.0	・	
28	100.0	26.9	23.7	29.5	7.3	5.9	6.7	26.6	1.4	0.2	71.8	・	

注：1)平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2)平成28年の数値は、熊本県を除いたものである。なお、平成25年の熊本県及び同県分を除いた46都道府県の数値は、48頁の参考表1に掲載している。

図1 世帯数と平均世帯人員の年次推移



注：1)平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2)平成23年の数値は、岩手県、宮城県及び福島県を除いたものである。

3)平成24年の数値は、福島県を除いたものである。

4)平成28年の数値は、熊本県を除いたものである。

2 65歳以上の者のいる世帯の状況

65歳以上の者のいる世帯（熊本県を除く。）は2416万5千世帯（全世帯の48.4%）となっている。

世帯構造をみると、「夫婦のみの世帯」が752万6千世帯（65歳以上の者のいる世帯の31.1%）で最も多く、次いで「単独世帯」が655万9千世帯（同27.1%）、「親と未婚の子のみの世帯」が500万7千世帯（同20.7%）となっている。（表2、図2）

表2 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移

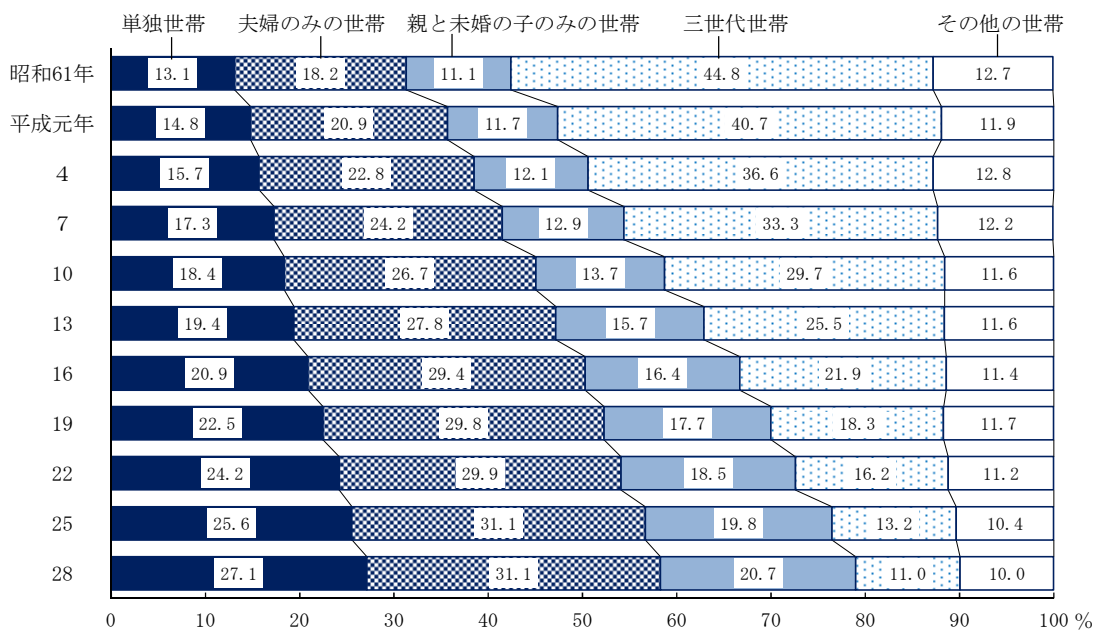
年次	65歳以上の者のいる世帯	全世帯に占める割合(%)	単独世帯	夫婦のみの世帯	親と未婚の子のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	(再掲) 65歳以上の者のみの世帯
推 計 数 (単位：千世帯)								
昭和61年	9 769	(26.0)	1 281	1 782	1 086	4 375	1 245	2 339
平成元年	10 774	(27.3)	1 592	2 257	1 260	4 385	1 280	3 035
4	11 884	(28.8)	1 865	2 706	1 439	4 348	1 527	3 666
7	12 695	(31.1)	2 199	3 075	1 636	4 232	1 553	4 370
10	14 822	(33.3)	2 724	3 956	2 025	4 401	1 715	5 597
13	16 367	(35.8)	3 179	4 545	2 563	4 179	1 902	6 636
16	17 864	(38.6)	3 730	5 252	2 931	3 919	2 031	7 855
19	19 263	(40.1)	4 326	5 732	3 418	3 528	2 260	8 986
22	20 705	(42.6)	5 018	6 190	3 836	3 348	2 313	10 188
25	22 420	(44.7)	5 730	6 974	4 442	2 953	2 321	11 594
26	23 572	(46.7)	5 959	7 242	4 743	3 117	2 512	12 193
27	23 724	(47.1)	6 243	7 469	4 704	2 906	2 402	12 688
28	24 165	(48.4)	6 559	7 526	5 007	2 668	2 405	13 252
構 成 割 合 (単位：%)								
昭和61年	100.0	・	13.1	18.2	11.1	44.8	12.7	23.9
平成元年	100.0	・	14.8	20.9	11.7	40.7	11.9	28.2
4	100.0	・	15.7	22.8	12.1	36.6	12.8	30.8
7	100.0	・	17.3	24.2	12.9	33.3	12.2	34.4
10	100.0	・	18.4	26.7	13.7	29.7	11.6	37.8
13	100.0	・	19.4	27.8	15.7	25.5	11.6	40.5
16	100.0	・	20.9	29.4	16.4	21.9	11.4	44.0
19	100.0	・	22.5	29.8	17.7	18.3	11.7	46.6
22	100.0	・	24.2	29.9	18.5	16.2	11.2	49.2
25	100.0	・	25.6	31.1	19.8	13.2	10.4	51.7
26	100.0	・	25.3	30.7	20.1	13.2	10.7	51.7
27	100.0	・	26.3	31.5	19.8	12.2	10.1	53.5
28	100.0	・	27.1	31.1	20.7	11.0	10.0	54.8

注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2) 平成28年の数値は、熊本県を除いたものである。なお、平成25年の熊本県及び同県分を除いた46都道府県の数値は、48頁の参考表2に掲載している。

3) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

図2 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移



注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2) 平成28年の数値は、熊本県を除いたものである。

3) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

65歳以上の者のいる世帯（熊本県を除く。）のうち、高齢者世帯の世帯構造をみると、「単独世帯」が655万9千世帯（高齢者世帯の49.4%）、「夫婦のみの世帯」が619万6千世帯（同46.7%）となっている（表3、図3）。

「単独世帯」をみると男は31.9%、女は68.1%となっている。

性別に年齢構成をみると、男は「65～69歳」が35.5%、女は「75～79歳」が21.4%で最も多くなっている。（図4）

表3 高齢者世帯の世帯構造の年次推移

年次	高齢者世帯	単独世帯	男の単独世帯	女の単独世帯	夫婦のみの世帯	その他の世帯
推 計 数 (単位：千世帯)						
昭和61年	2 362	1 281	246	1 035	1 001	80
平成元年	3 057	1 592	307	1 285	1 377	88
4	3 688	1 865	348	1 517	1 704	119
7	4 390	2 199	449	1 751	2 050	141
10	5 614	2 724	555	2 169	2 712	178
13	6 654	3 179	728	2 451	3 257	218
16	7 874	3 730	906	2 824	3 899	245
19	9 009	4 326	1 174	3 153	4 390	292
22	10 207	5 018	1 420	3 598	4 876	313
25	11 614	5 730	1 659	4 071	5 513	371
26	12 214	5 959	1 909	4 049	5 801	455
27	12 714	6 243	1 951	4 292	5 998	473
28	13 271	6 559	2 095	4 464	6 196	516
構 成 割 合 (単位：%)						
昭和61年	100.0	54.2	10.4	43.8	42.4	3.4
平成元年	100.0	52.1	10.0	42.0	45.0	2.9
4	100.0	50.6	9.4	41.1	46.2	3.2
7	100.0	50.1	10.2	39.9	46.7	3.2
10	100.0	48.5	9.9	38.6	48.3	3.2
13	100.0	47.8	10.9	36.8	49.0	3.3
16	100.0	47.4	11.5	35.9	49.5	3.1
19	100.0	48.0	13.0	35.0	48.7	3.2
22	100.0	49.2	13.9	35.3	47.8	3.1
25	100.0	49.3	14.3	35.1	47.5	3.2
26	100.0	48.8	15.6	33.2	47.5	3.7
27	100.0	49.1	15.3	33.8	47.2	3.7
28	100.0	49.4	15.8	33.6	46.7	3.9

注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2) 平成28年の数値は、熊本県を除いたものである。なお、平成25年の熊本県及び同県分を除いた46都道府県の数値は、49頁の参考表3に掲載している。

3) 「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世帯世帯」を含む。

図3 高齢者世帯の世帯構造

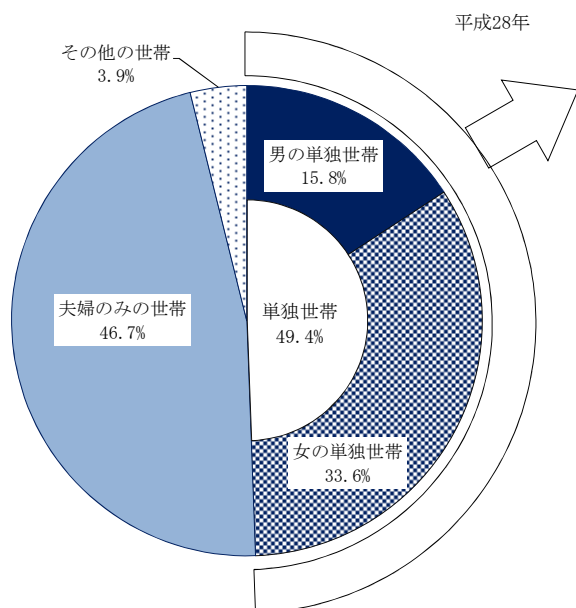
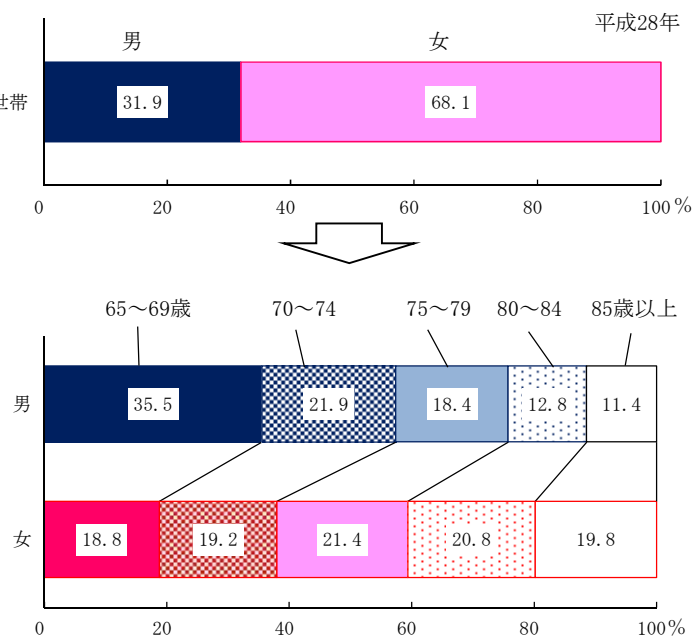


図4 65歳以上の単独世帯の性・年齢構成



注：1) 熊本県を除いたものである。

2) 「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世帯世帯」を含む。

3 65歳以上の者の状況

65歳以上の者（熊本県を除く。）は3531万5千人となっている。

家族形態をみると、「夫婦のみの世帯」（夫婦の両方又は一方が65歳以上）の者が1372万1千人（65歳以上の者の38.9%）で最も多く、次いで「子と同居」の者が1357万人（同38.4%）、「単独世帯」の者が655万9千人（同18.6%）となっている。（表4）

性・年齢階級別にみると、年齢が高くなるにしたがって男は「子夫婦と同居」の割合が高くなっており、女は「単独世帯」と「子夫婦と同居」の割合が高くなっている（図5）。

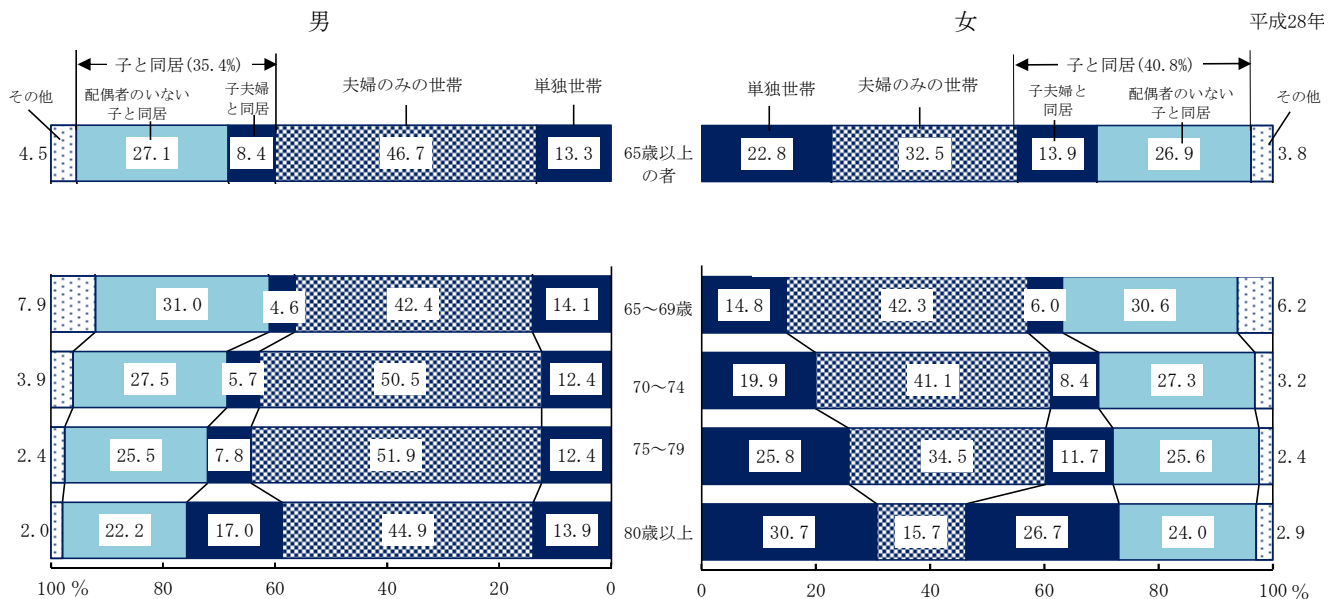
表4 65歳以上の者の家族形態の年次推移

年次	65歳以上の者	単独世帯	夫婦のみの世帯	子と同居	子夫婦と同居		その他の親族と同居	非親族と同居
					子夫婦と同居	配偶者のいない子と同居		
推 計 数 (単位：千人)								
昭和61年	12 626	1 281	2 784	8 116	5 897	2 219	409	37
平成元年	14 239	1 592	3 634	8 539	6 016	2 524	445	29
4	15 986	1 865	4 410	9 122	6 188	2 934	549	41
7	17 449	2 199	5 125	9 483	6 192	3 291	611	31
10	20 620	2 724	6 669	10 374	6 443	3 931	816	36
13	23 073	3 179	7 802	11 173	6 332	4 841	878	41
16	25 424	3 730	9 151	11 571	5 995	5 576	916	55
19	27 584	4 326	10 122	12 034	5 406	6 629	1 056	45
22	29 768	5 018	11 065	12 577	5 203	7 374	1 081	27
25	32 394	5 730	12 487	12 950	4 498	8 452	1 193	33
26	34 326	5 959	13 043	13 941	4 728	9 213	1 339	44
27	34 658	6 243	13 467	13 526	4 347	9 179	1 370	52
28	35 315	6 559	13 721	13 570	4 034	9 536	1 420	44
構 成 割 合 (単位：%)								
昭和61年	100.0	10.1	22.0	64.3	46.7	17.6	3.2	0.3
平成元年	100.0	11.2	25.5	60.0	42.2	17.7	3.1	0.2
4	100.0	11.7	27.6	57.1	38.7	18.4	3.4	0.3
7	100.0	12.6	29.4	54.3	35.5	18.9	3.5	0.2
10	100.0	13.2	32.3	50.3	31.2	19.1	4.0	0.2
13	100.0	13.8	33.8	48.4	27.4	21.0	3.8	0.2
16	100.0	14.7	36.0	45.5	23.6	21.9	3.6	0.2
19	100.0	15.7	36.7	43.6	19.6	24.0	3.8	0.2
22	100.0	16.9	37.2	42.2	17.5	24.8	3.6	0.1
25	100.0	17.7	38.5	40.0	13.9	26.1	3.7	0.1
26	100.0	17.4	38.0	40.6	13.8	26.8	3.9	0.1
27	100.0	18.0	38.9	39.0	12.5	26.5	4.0	0.1
28	100.0	18.6	38.9	38.4	11.4	27.0	4.0	0.1

注：1)平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2)平成28年の数値は、熊本県を除いたものである。なお、平成25年の熊本県及び同県分を除いた46都道府県の数値は、49頁の参考表4に掲載している。

図5 性・年齢階級別にみた65歳以上の者の家族形態



注：1) 熊本県を除いたものである。

2) 「その他」とは、「その他の親族と同居」及び「非親族と同居」をいう。

4 児童のいる世帯の状況

児童のいる世帯（熊本県を除く。）は1166万6千世帯で全世帯の23.4%となっており、児童が「1人」いる世帯は543万6千世帯（全世帯の10.9%、児童のいる世帯の46.6%）、「2人」いる世帯は470万2千世帯（全世帯の9.4%、児童のいる世帯の40.3%）となっている。

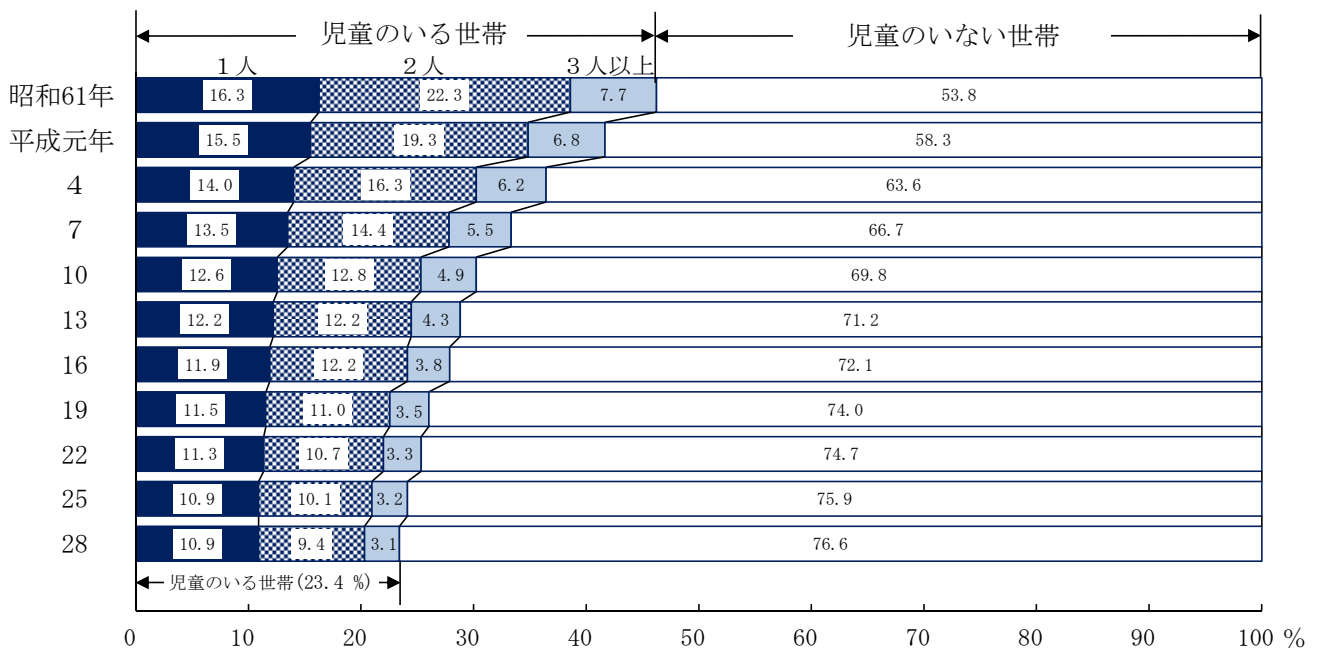
世帯構造をみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が857万6千世帯（児童のいる世帯の73.5%）で最も多く、次いで「三世帯世帯」が171万7千世帯（同14.7%）となっている。（表5、図6）

表5 児童数別、世帯構造別児童のいる世帯数及び平均児童数の年次推移

年次	児童のいる世帯	全世帯に占める割合 (%)	児童数			世帯構造					児童のいる世帯の平均児童数
			1人	2人	3人以上	核家族世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	
昭和61年	17 364	(46.2)	6 107	8 381	2 877	12 080	11 359	722	4 688	596	1.83
平成元年	16 426	(41.7)	6 119	7 612	2 695	11 419	10 742	677	4 415	592	1.81
4	15 009	(36.4)	5 772	6 697	2 540	10 371	9 800	571	4 087	551	1.80
7	13 586	(33.3)	5 495	5 854	2 237	9 419	8 840	580	3 658	509	1.78
10	13 453	(30.2)	5 588	5 679	2 185	9 420	8 820	600	3 548	485	1.77
13	13 156	(28.8)	5 581	5 594	1 981	9 368	8 701	667	3 255	534	1.75
16	12 916	(27.9)	5 510	5 667	1 739	9 589	8 851	738	2 902	425	1.73
19	12 499	(26.0)	5 544	5 284	1 671	9 489	8 645	844	2 498	511	1.71
22	12 324	(25.3)	5 514	5 181	1 628	9 483	8 669	813	2 320	521	1.70
25	12 085	(24.1)	5 457	5 048	1 580	9 618	8 707	912	1 965	503	1.70
26	11 411	(22.6)	5 293	4 621	1 497	9 013	8 165	848	1 992	405	1.69
27	11 817	(23.5)	5 487	4 779	1 551	9 556	8 691	865	1 893	367	1.69
28	11 666	(23.4)	5 436	4 702	1 527	9 386	8 576	810	1 717	564	1.69
			構成割合 (単位: %)								
昭和61年	100.0	•	35.2	48.3	16.6	69.6	65.4	4.2	27.0	3.4	•
平成元年	100.0	•	37.2	46.3	16.4	69.5	65.4	4.1	26.9	3.6	•
4	100.0	•	38.5	44.6	16.9	69.1	65.3	3.8	27.2	3.7	•
7	100.0	•	40.4	43.1	16.5	69.3	65.1	4.3	26.9	3.7	•
10	100.0	•	41.5	42.2	16.2	70.0	65.6	4.5	26.4	3.6	•
13	100.0	•	42.4	42.5	15.1	71.2	66.1	5.1	24.7	4.1	•
16	100.0	•	42.7	43.9	13.5	74.2	68.5	5.7	22.5	3.3	•
19	100.0	•	44.4	42.3	13.4	75.9	69.2	6.8	20.0	4.1	•
22	100.0	•	44.7	42.0	13.2	76.9	70.3	6.6	18.8	4.2	•
25	100.0	•	45.2	41.8	13.1	79.6	72.0	7.5	16.3	4.2	•
26	100.0	•	46.4	40.5	13.1	79.0	71.6	7.4	17.5	3.6	•
27	100.0	•	46.4	40.4	13.1	80.9	73.6	7.3	16.0	3.1	•
28	100.0	•	46.6	40.3	13.1	80.5	73.5	6.9	14.7	4.8	•

注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 2) 平成28年の数値は、熊本県を除いたものである。なお、平成25年の熊本県及び同県を除いた46都道府県の数値は、49頁の参考表5に掲載している。
 3) 「その他の世帯」には、「単独世帯」を含む。

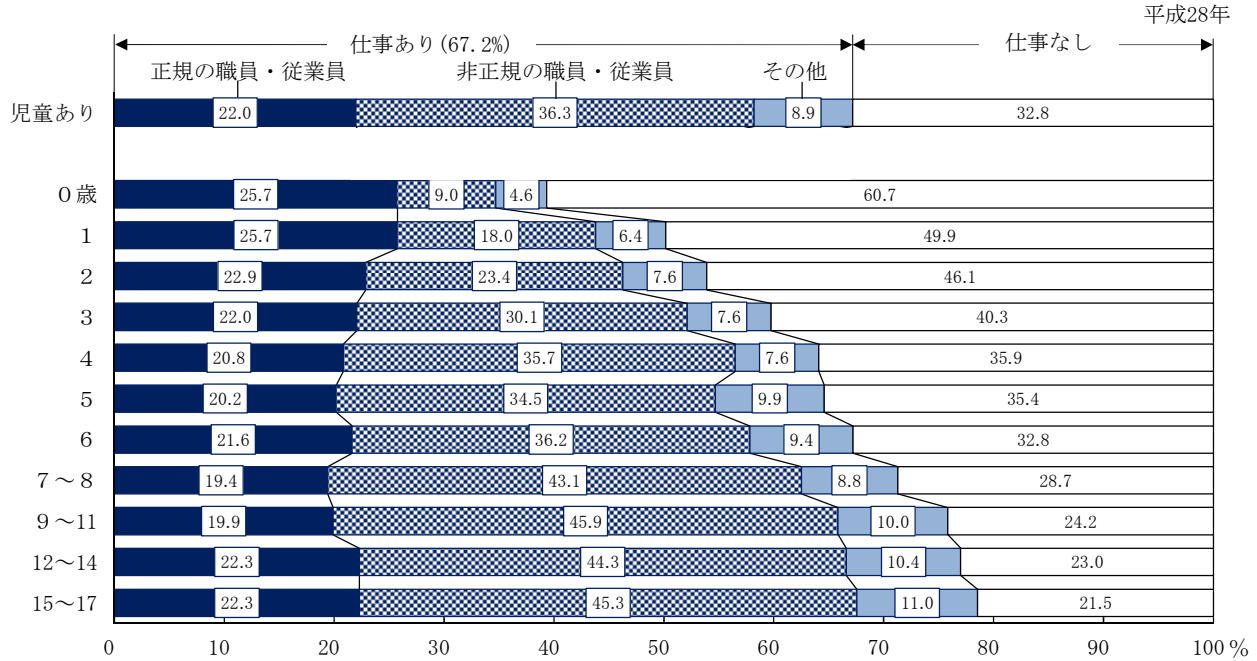
図6 児童有（児童数）無の年次推移



注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 2) 平成28年の数値は、熊本県を除いたものである。

児童のいる世帯（熊本県を除く。）における母の仕事の有無をみると、「仕事あり」は67.2%となっている。末子の年齢階級別にみると、末子の年齢が高くなるにしたがって「非正規の職員・従業員」の母の割合が高くなる傾向にある。（図7）

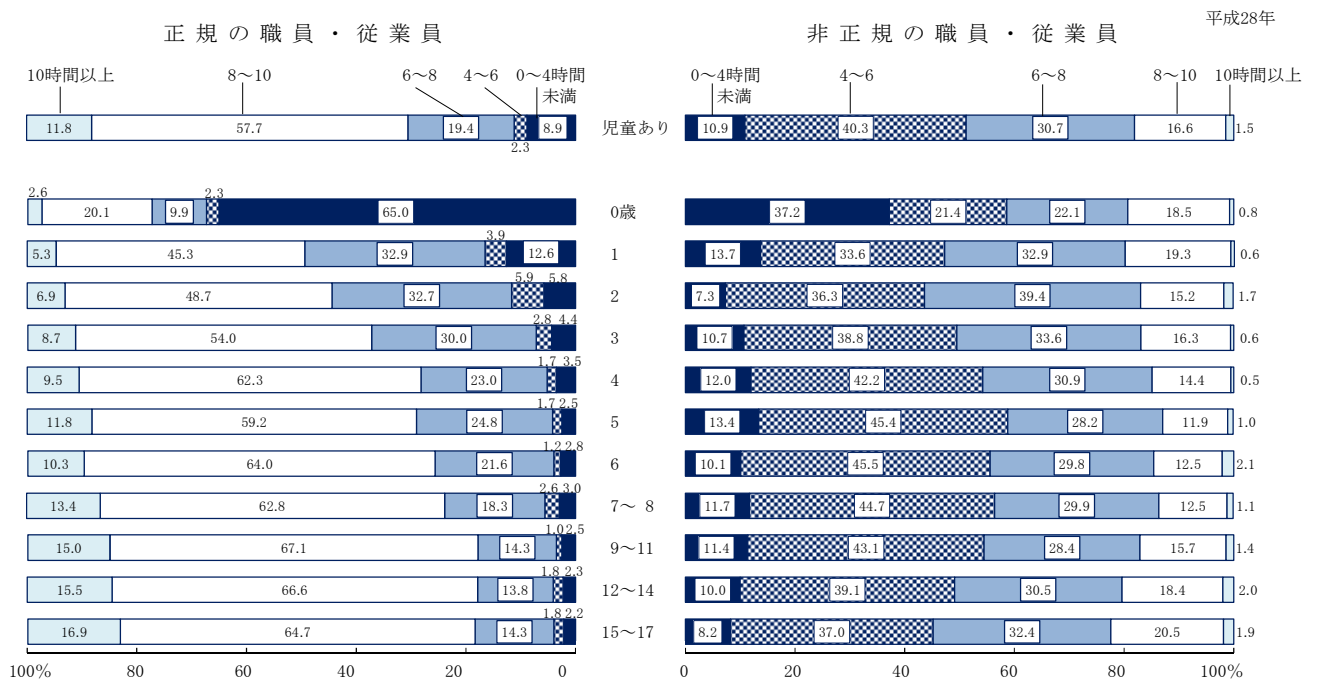
図7 末子の年齢階級別にみた母の仕事の状況



注：1) 熊本県を除いたものである。
 2) 「仕事の有無不詳」を含まない。
 3) 「その他」には、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含む。

仕事ありの母（熊本県を除く。）の1日平均就業時間を末子の年齢階級別にみると、正規の職員・従業員は、「0歳」では「0～4時間未満」の割合が65.0%で最も多くなっている。「0歳」以外の年齢では「8～10時間未満」の割合が多くなっている。非正規の職員・従業員は、「0歳」以外の年齢で「4～6時間未満」と「6～8時間未満」を合わせて約7割を占めている。（図8）

図8 末子の年齢階級別にみた仕事ありの母の1日平均就業時間の状況

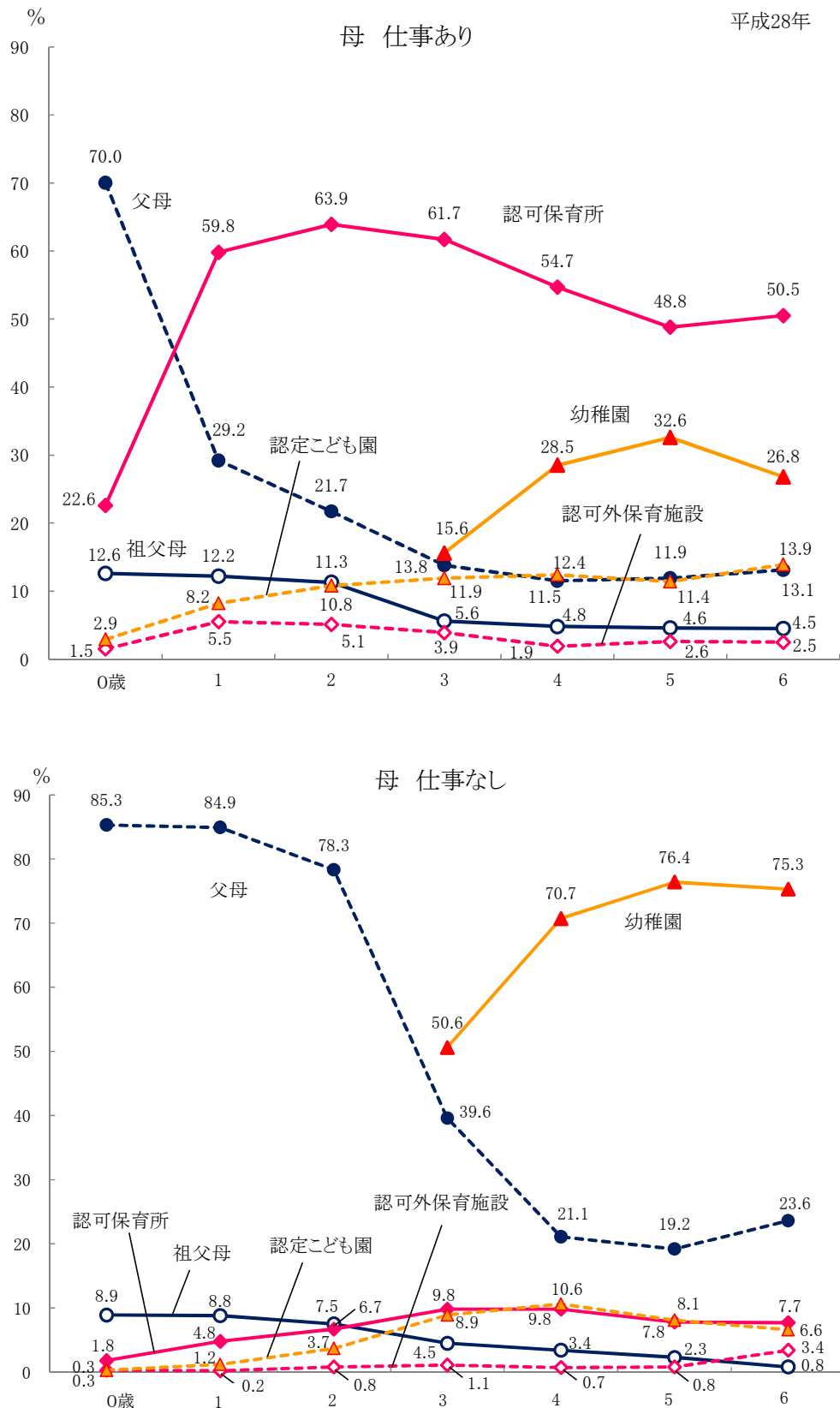


注：1) 熊本県を除いたものである。
 2) 1日の平均就業時間は、5月16～22日の間の就業時間を就業日数で除したものである。
 3) 「平均就業時間不詳」を含まない。
 4) 会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含まない。

末子の乳幼児（熊本県を除く。）について、日中における保育の状況を末子の年齢別にみると、仕事ありの母は、「0歳」では「父母」の割合が70.0%で最も高くなっており、「1歳」から「3歳」では「認可保育所」の割合が約6割となっている。また、「4歳」から「6歳」では「認可保育所」の割合が約5割、「幼稚園」の割合が約3割となっている。

仕事なしの母は、「0歳」から「2歳」では「父母」の割合が最も高く、約8割となっている。また、「3歳」から「6歳」は「幼稚園」の割合が最も高くなってきている。（図9）

図9 母の仕事の有無・末子の乳幼児の年齢別にみた日中の保育の状況（複数回答）



注：熊本県を除いたものである。